

本堂耐震見学会開催

日時 令和 4 年 5 月 1 7 日 (火・友引) 9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
会場 曹洞宗 瑞生寺様 (浜松市中区東伊場 1-28-13)

瑞生寺様では 2019 年～20 年 に本堂耐震工事と屋根替え工事、2020 年～21 年に防災倉庫を建設し、自然災害などの緊急時に対応できる地域防災拠点としても使えるように取り組んできました。これからの時代、地域の中での寺院の存在意義の一つとして、災害時の緊急対応といった近隣住民や檀信徒の皆様から頼ってもらえる環境づくりのご提案をさせていただきます。今回は建物の見学だけでなく、同時に関連する様々な催しも計画しておりますので、この機会に是非足をお運びください。

講話「東日本大震災の教訓から自坊ができること」瑞生寺住職 左右田泰丈様

1 回目 10 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0 2 回目 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 5 0

瑞生寺ご住職は、2011 年の東日本大震災当時、学校に勤務されていて、なかなか現地の直接支援ができず、曹洞宗青年会の活動を後方支援されていたそうです。その後、何度か訪問した際、「寺院には津波発生直後に多くの方が助けを求めに来た。急きょ避難所として開放した」という体験談を聞きました。また「お寺は必ず避難所になる。モノとこころの準備が必要だ」という稲場圭信大阪大学院教授の話聞き、地域の中で寺院の可能性を模索し、災害時に本堂を避難所や災害支援拠点として対応できる施設へ改修を行ってきました。何を学び、どのようなことを意識して、準備しているか、具体的なお話をうかがうことができます。



本堂は、できるだけ以前の雰囲気を残しながら、土を除き、軽量屋根瓦をつかう屋根替えを行い、床下と天井裏を中心に耐震工事を行いました。

防災倉庫には、備蓄品として食料水、発電機、簡易トイレ、段ボールベッドなどが納められています。

